

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成28度1回)議事概要

|  |   |    |
|--|---|----|
| 開催日時及び場所   | 平成28年6月16日(木)15時～17時 沖縄総合事務局 2階 共用会議室C  |    |
| 出席委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・当山尚幸(委員長:弁護士)</li> <li>・酒井一人(琉球大学農学部教授)</li> <li>・崎山律子(フリージャーナリスト)</li> <li>・名嘉座元一(沖縄国際大学経済学部教授)</li> <li>・宮城千春(公認会計士)</li> </ul>   |    |
| 審議対象期間   | 平成28年1月1日 ~ 平成28年3月31日  |    |
| 項目   | 抽出案件  | 備考 |
| 総件数  | 16 件  |    |
| 工事   | 5   |    |
| ① 一般競争入札方式(政府調達)   | 1   |    |
| ② 一般競争入札方式   | 4   |    |
| ③ 工事希望型競争入札方式  | 0   |    |
| ④ 指名競争入札   | 0   |    |
| ⑤ 随意契約   | 0   |    |
| 建設コンサルタント業務等   | 1   |    |
| ① 一般競争入札方式   | 1   |    |
| ② 公募型競争入札方式  | 0   |    |
| ③ 簡易公募型競争入札方式  | 0   |    |
| ④ 指名競争入札   | 0   |    |
| ⑤ 公募型プロポーザル方式  | 0   |    |
| ⑥ 簡易公募型プロポーザル方式  | 0   |    |
| ⑦ 標準プロポーザル方式   | 0   |    |
| ⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約   | 0   |    |
| ⑨ 随意契約   | 0   |    |
| 役務の提供等及び物品の製造等   | 10  |    |
| ① 一般競争入札方式   | 10  |    |
| ② 指名競争入札   | 0   |    |
| ③ 企画競争方式   | 0   |    |
| ④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約   | 0   |    |
| ⑤ 随意契約   | 0   |    |
| 議事   | <p>1, 指名停止等の運用状況について</p> <p>2, 平成28年1月～3月における公共工事等の発注状況について</p> <p>3, 抽出事案の審議について</p>   |    |
| 委員の意見・質問等  | 回答  |    |
| <p>1. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 平成27年度農業農村整備情報ネットワーク等改修業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札(最低価格落札方式)</li> <li>・ 業種区分 役務の提供等(情報処理)</li> <li>・ 競争参加資格 2 を確認した者の数</li> <li>・ 入札者数 2</li> <li>・ 契約締結日 平成28年2月3日</li> <li>・ 契約の相手方 NECソフト沖縄株式会社</li> <li>・ 契約金額 667千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格の設定はどのように行ったのか。落札率が低いが業務は適切に履行されているのか。</li> <li>・ 参考見積の3者はどのように選んでいるのか。またどのように見積もってもらっているのか。見積りに費用提供はあるのか。</li> <li>・ 参考見積と実際の入札の金額の乖離が大きい。見積の取り方に工夫が必要だと思われる。時間数と単価から適正な価格を出すノウハウの積み上げが必要だと感じる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格については3者から参考見積を取り、一番低い業者の見積金額を予定価格にしている。作業報告書を提出させ、システムの稼働状況も確認しており、業務は適切に履行されていると判断している。また業務としても仮想化と施設の撤去なので品質が下がるということもない。</li> <li>・ 県内でネットワークやコンピュータ関係の事業を行っている代表的なところをピックアップしている。見積は入札公告と同じ仕様書を提示して取っている。見積費用の支払はない。</li> <li>・ このようなネットワーク、コンピュータ業務については発注者側に専門知識が乏しく、積算を自ら行うのは難しいので、業者の見積を参考にしている。乖離があるのは企業努力だと考えているが、事後検証等行い、今後同様の業務の見積りの取り方について工夫をしていきたい。</li> </ul> |    |

| 委員の意見・質問等   | 回答  |
|---|---|
| <p>2. 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>○ 平成28年3月事務用物品の購入</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札方式<br/>(最低価格落札方式)</li> <li>・ 業種区分 物品の販売</li> <li>・ 競争参加資格 1<br/>を確認した者<br/>の数</li> <li>・ 入札者数 1</li> <li>・ 契約締結日 平成28年3月9日</li> <li>・ 契約の相手方 株式会社サンコー</li> <li>・ 契約金額 2,876千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1者応札の要因は何だと考えているか。</li> <li>・ 品目が多いが全部注文通りに納品することは可能なのか。メーカーはどこが指定するのか。</li> <li>・ 年度末でなく、もう少し早く発注すれば1者応札にならなかったのではないか。また事務用物品の発注ということで電化製品や文房具等まとめて発注しているので規模が大きくなりすぎているので1者応札になっているのではないか。</li> <li>・ 予定価格は見積をとって決めたのか。契約相手方の資格の等級は何か。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度末ということで他の月と比べて調達数量が多かったこと、また調達品の中に既製品等の単純な納品でないものもあり納期の関係で参加業者が限られたのではないかと考えている。ただ過去の納品の実績からは納期に問題はないということで発注している。</li> <li>・ 契約相手方には全て納品してもらっている。メーカー等は当局が指定しているが同等品可と仕様書に示しており、入札参加業者から事前に規格を示してもらい当局で確認して了解を出したうえで入札してもらっている。</li> <li>・ 事務物品の発注は毎月行っており、まとめて発注しているわけではない。4月期の人事異動、補助金の額の確定等に向けて必要な物品を調達する必要があり3月は通常月より発注が多くなっている。発注の仕方については、電化製品、文房具等ジャンル毎にするなど工夫を行っていくことを検討したい。</li> <li>・ 予定価格はカタログ価格で決定している。契約相手方株式会社サンコーは物品の販売C等級である。</li> </ul> |
| <p>委員の意見・質問等</p> <p>3. 工事</p> <p>○ 前田住宅道路排水改修工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札方式<br/>(最低価格落札方式)</li> <li>・ 業種区分 一般土木工事</li> <li>・ 競争参加資格 1<br/>を確認した者<br/>の数</li> <li>・ 入札者数 1</li> <li>・ 契約締結日 平成28年2月3日</li> <li>・ 契約の相手方 有限会社中央環境サービス<br/>公社</li> <li>・ 契約金額 3,780千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1者応札の要因は何だと考えているか。工期は余裕のある期間か。</li> <li>・ 予定価格はどのように出しているのか。落札率が同時期の他の工事案件に比べて高いがなぜだと考えているか。</li> </ul>   | <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札資料を取りに来た業者へヒアリングを行ったが、年度末の発注のため、手持ち工事が終わらない所が多かったため。発注時期については国有財産審議会の審議で国有財産処分の方針が決まるまでは発注が出せないで年度末になってしまっている。工期については十分対応出来る工期になっており、宿舎の構内道路で当局の敷地内のため市町村等への行政手続も一切なく、応募の資格についてもランクを広げる工夫をしたが、結果的に1者になってしまっている。</li> <li>・ 予定価格は見積りによるもの。同時期の他の工事案件は解体工事で資材が必要なく、壊して廃材を処分する工事なので、企業努力で金額を抑えられるものだが、本件は排水改修工事であり、資材が発生するので、金額を抑えられなかったのだと思われる。</li> </ul>   |

| 委員の意見・質問等  | 回答  |
|--|---|
| <p>4. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 小祿住宅ほか外壁改修その他工事設計業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式 一般競争入札方式<br/>(最低価格落札方式)</li> <li>・ 業種区分 建設関係建設コンサルタント</li> <li>・ 契約締結日 平成28年2月9日</li> <li>・ 契約の相手方 株式会社近代設計</li> <br/> <li>・ 契約金額 2,570千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2者応札となっているが2者の入札金額の乖離が大きいのはなぜだと考えているか。予定価格はどのように設定しているのか。</li> <br/> <li>・ 入札を3回行っているが、1回目で入札金額を高くしていた業者(予定価格と乖離が大きい)は2回目の入札を辞退している。2回目の入札額を大幅に下げないといけないと分かっていたからなのか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格の設定については国土交通省の積算基準に基づいて行っており、過去の改修工事と同規模の宿舎データを資料として提供しており、決して安い金額にしているわけではない。落札した業者は予定価格に近い金額で入札しており、適正な金額だと考えている。</li> <br/> <li>・ 入札で1回目で不調になった場合、最低価格をその場で伝えているので、恐らくこれ以上は金額を下げられないと判断されたと思われる。</li> </ul> |